

10月のイベントカレンダー

日	曜日	内容	掲載面
1日	金	法律相談	3面
2日	土		
3日	日		
4日	月		
5日	火		
6日	水		
7日	木	大腸がん検診、肺がん検診、 特定健康診査	3面
8日	金	花と緑の相談	3面
9日	土		
10日	日	ひったくり防止カバー 無料取付キャンペーン	9月号
11日	月		
12日	火	移動図書館巡回日(北津守小)	4面
13日	水	乳がん検診、骨量検査、 歯科相談	3面
14日	木	行政相談 移動図書館巡回日(南津守小)	3面 4面
15日	金	不動産相談 特設人権相談	3面 12面
16日	土		
17日	日		
18日	月		
19日	火	法律相談	3面
20日	水		
21日	木		
22日	金		
23日	土		
24日	日	日曜開庁	1面
25日	月		
26日	火	ハロウィンの飾りづくり(子 ども・子育てプラザ)(~29日)	4面
27日	水		
28日	木	乳がん検診、骨量検査、 歯科相談 えいごであそぼう (子ども・子育てプラザ)	3面 4面
29日	金		
30日	土		
31日	日	ちょちょヴァナ 秋の本番 (プレーカープロジェクト)	4面

区長の部屋 まちづくりは郷土愛

年明け早々、西成区職員の若い友人が急逝した。西成に戻ることになったと連絡しても音沙汰がなく気になっていたが、まだ50歳代半ばでまさか他界するとは思いませんでした。

前回の区長任期中、いろいろお世話になった。気さくな音楽好きで誰からも愛され、ミニチュアで西成のまちやチン電を作るなど達者だった。そして、西成を故郷のように愛していた。

閉校になる小学校で音楽祭を開いたり、区役所玄関ロビーに鯉のぼりを展示したり、私の勝手な思いつきで始めたひまわり迷路や門松づくりなどにも取り組んでくれた。それはひとえに区民の皆さんに喜んでいただきたいからだった。

門松は新成人たちの絶好の記念撮影ポイントになったが、区役所玄関に飾った重い一對の桶を、不用心だからと毎夕庁舎に引っ張り込んでいたと後で知ってその配慮に涙が出た。

いま、コロナ禍でさまざまな行事や催しが中止や延期になり、地域でも集い交流することが難しい日々が続いている。

ただ、だからこそ、こういう時代だからこそ、地域を愛する人がまちづくりにとって大切なのだと思う。折しもわたしたちの代表を選ぶ選挙が間近になったいま、出たい人より出したい人を望みたいと改めて思う。

区政、区長へのご意見、ご要望をお寄せください。3営業日以内のご返事をめざしています。→nishinarikucho@gmail.com



西成区長 **とみなが まさひろ** 正廣

西成情報局

地域福祉活動の支援にかかる協議を行いました

8月23日に、(社福)大阪市西成区社会福祉協議会と「地域福祉活動の支援にかかる連携協定書」にもとづく協議を行いました。今後とも区役所と区社会福祉協議会の双方が連携・協働していきます。



隔月で人権コラムを掲載します。今月のテーマは「障がいのある人と人権」です。

人権コラム

「障がいのある人と人権」

大阪府立大学 准教授 三田優子

皆さんは「金継ぎ」をご存知でしょうか。割れたり欠けたりした茶碗などの修復方法の1つで、漆や金などを用いて欠けたところを貼り合わせ、もとの形に戻すものです。元の茶碗にはなかった継ぎ模様が新たな味わいを醸し出すことから、アートのひとつとして最近では若者の間でも流行し、安価なパテを用いながら世界にひとつしかない食器を楽しんでいます。

私がこの言葉を知ったのは、精神障がいのあるAさんとの会話の中でした。Aさんは20代で精神疾患を発症し、小学校教諭を続けることができなくなった経験をもっています。その後も挫折や苦労を重ね、現在は精神障がい者支援のNPO法人の理事長として活動を続けていますが、「また失敗しちゃったよ」と笑いながら電話をくれるように、少しも偉ぶらず、自然体の魅力を発揮しています。出会って20年以上になるAさんは、私にとっては本音で話せる貴重な友人です。

そんなAさんに「精神疾患が治ったらいいなあと思う？」と尋ねたとき、こんな答えが返ってきたのです。「なんでこんな病気になったんだろう、という気持ちは還暦になってもなお思うことはある。でも最近では、自分は味のある『金継ぎ』をめざそうと思うんだ。原型を保てないほど欠けだらけ、ひびだらけの自分(器)だけど、これが自分だし愛おしいと思えるんだよね。なりたいたい自分にはなれなかったけど、今の自分は、他にはない唯一無二の茶碗だからね」

何気なく尋ねた問いに、言葉を選びながらこんな風に話してくれるAさんに、私はいつも「参った」と思います。自分の欠けたところを正直に認めたり、直視することは私にとってはしんどい作業です。しかし、Aさんはそこから逃げず、諦めずに生きているように思います。

また、Aさんはこんな表現で人生をとらえます。「人生が、坂道を登ることだとすると、疲れたとき、悲しいときは特に坂の先を見るたびに『まだあんなに登らないといけないのか』と登るのが嫌になってしまうよね。しかも、あちこちからがんばれ、休むなと言われたら脱落したくなる。でも、坂の途中でときどき立ち止まって汗を拭いて、そして振り返ることが大事だと思う。そして振り返って今まで登ってきた道をしみじみ眺め、『よくここまで登ったなあ』と自分をほめてあげる。それができるのであれば、この先も登って行けるように思うんだ」と。

こんなAさんのもとにはたくさんの人が集まります。時には医療の専門職までもが相談に訪れています。大学教員である私もそのひとりで、何気ないおしゃべりの中でしょっちゅう心は揺さぶられ、励まされています。私は、Aさんが体験してきたその貴重な苦労が、誰かを助けているのだと思います。こんな風に、障がい者は、支援を受けるだけでなく、誰かを助け支えることができる存在でもあります。みんな生きづらさを感じるこの時代、障がいの有無で線引きをするのではなく、それぞれの金継ぎを愛でられる社会であってほしいと願います。

人権擁護委員による特設人権相談所を開設します **無料** **秘密厳守**

日時 10月15日(金) 13:30~16:00

場所 区役所4階 4-8会議室

悩みごと・困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

問合せ 大阪第一人権擁護委員協議会 ☎6942-1489 ☎6943-7406

10月にしなりのジャガピーパーク

●もと津守小学校・幼稚園

●出張開催(丸数字)(もと今宮小学校)

詳細は、にしなりジャガピーパークの

ホームページなどでお知らせします。

問合せ 保健福祉課(子育て支援)

5階52番窓口

☎6659-9824

日	月	火	水	木	金	土
	3					9
	10					
	17					23
	24					30
	31					

